

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
広陵町	広陵町立真美ヶ丘第二小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

教員の指導だけでは安全面や効率面等で負担が大きく、行き届かない場面では地域や保護者の協力は必要不可欠である。協力していただくことにより、児童の安全が保たれ、教育効果が向上すると考える。また、児童と地域の方々とのつながりが生まれたり深まったりすることも考えられる。さらには、参加していただく方々にも、やりがいや楽しさを感じていただけるのではないかと思われる。

2 特徴的な取組の概要



【家庭科調理やミシン学習の補助】

【絵本の読み聞かせ】【むかし遊びの指導】

- 地域コーディネーターが中心となり、学校コミュニティ協議会において学校が支援を要望する内容について検討し、地域コーディネーターが地域・保護者に協力を呼びかけて行った支援活動には、主に次のようなものがある。

1 家庭科調理学習やミシン学習の補助

5年生の家庭科でのミシン学習や調理学習において、地域のボランティアや保護者の方に児童の実習のアシスタントを行っていただいた。ミシンを初めて使うので、教員一人では使い方の指導も安全の確保も厳しいものがあるが、支援をしていただいた結果、よりスムーズにかつ楽しく授業を展開できたと児童にもボランティアの方々にも好評であった。調理においても安全にかつ計画的に行うことができた。

2 絵本の読み聞かせの指導

夏休みを利用して、図書室で合計7回絵本の読み聞かせを行っていただいた。手遊びをしたり簡単なゲームをしたりして場を和やかにした後の読み聞かせで、子どもたちは集中して聞けていた。

3 むかし遊びの指導

15名の地域の方々にお越しいただき、「羽根つき」「独楽回し」等のむかしの遊びを教えていただいた。時間はあっという間に過ぎ、お互いに楽しいひとときを過ごすことができた。今後も世代を超えた交流を続けていきたい。